

波佐ネット通信

No. 225 2023.3.5

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

文化講演会報告

第47回文化講演会は、3月4日(土)10時から正午まで、金城町波佐のまちづくりセンターにて、開催しました。講師は、県立津和野高等学校教頭阿部志朗氏をお招きして、演題「『統計資料から探る明治期の石見の産物の流通』～明治30年代の各道府県統計書を手掛かりに～」を拝聴しました。

阿部氏は高校で地理を専門に社会科を指導する傍ら、休日には、石見焼き、北前船の研究のため国内外を行脚し、海運関係の論文を多数発表されています。本日は、北前船再考、客船帳から見た石見の産物の流通。物証としての石見焼・石州瓦、石州瓦の流通。「鉄」の流通。波佐の鉄の移出先は？。都府県統計書に見る石見の産物の流通。など、映像を交えて、16年間で400箇所以上の現地調査を踏まえて、お話しを頂きました。



市指定文化財看板設置

浜田市教育委員会は、市指定文化財・史跡2箇所、この程、案内看板を設置されました。新たな設置場所は、金城町長田の「千年比丘1号墳」と金城町波佐の「波佐一本松城」です。

「千年比丘1号墳」は、4世紀前半の円墳(直径15m)石見地方最古の古墳で令和2年3月に史跡指定となった。出土品も一括で、市指定文化財となっています。

「波佐一本松城」は、平安末期の築城とされ、風水による造作がなされ、水堀と水撥ね施設のある特異な縄張りの山岳城郭です。昭和62年12月に史跡指定となりました。

今回、2箇所の案内看板の設置で、見学者により詳細な内容が学べて現地踏査が楽しいものとなりました。波佐文化協会では、波佐一本松城ガイド(3時間コース・22箇所)を行っています。

